日本国内　自動車解体事業者様向け

高電圧バッテリー　回収・リサイクルマニュアル

（リチウムイオン電池）

LEVORG

LAYBACK

e-BOXER搭載車

ストロングハイブリッド

（車台番号：VNF-002001～）

株式会社SUBARU

2026 年 10 月

目次

1. はじめに 2
2. 車両の識別 3
3. 高電圧バッテリー(リチウムイオン電池)の取外し方法 5
4. 高電圧バッテリー(リチウムイオン電池)引取りの準備・荷姿 36

1. はじめに

本マニュアルは高電圧バッテリー（リチウムイオン電池）の取外し方法を記載しています。

作業を始める前に、必ず別ファイルの「高電圧バッテリー回収・リサイクルマニュアル共通編（リチウムイオン電池）」を熟読し、全ての注意事項を理解してください。また、指示されている必要事項（資格や装備など）を満たしている作業者の方のみが作業を行ってください。

■ 安全に関する表示

以下の項目は、安全に関して特に重要な事項を説明しています。必ずお読みください。

⚠ 警告	指示に従わないと、作業者または他の人が死亡または重大な損害を負う恐れのある事項、および、記載事項を守らないと障害や事故につながる恐れがある事項を掲載しています。
⚠ 注意	指示に従わないと、車両または部品などが損傷するため、行ってはいけない事項、および、作業上で特に注意すべき事項を掲載しています。
参考	作業を容易にするための補足説明を掲載しています。

2. 車両の識別

下記にLEVORG LAYBACK e-BOXER搭載車（ストロングハイブリッド）の特徴を示します。1つでも該当するものがあれば、本書を参考にして作業を実施してください。

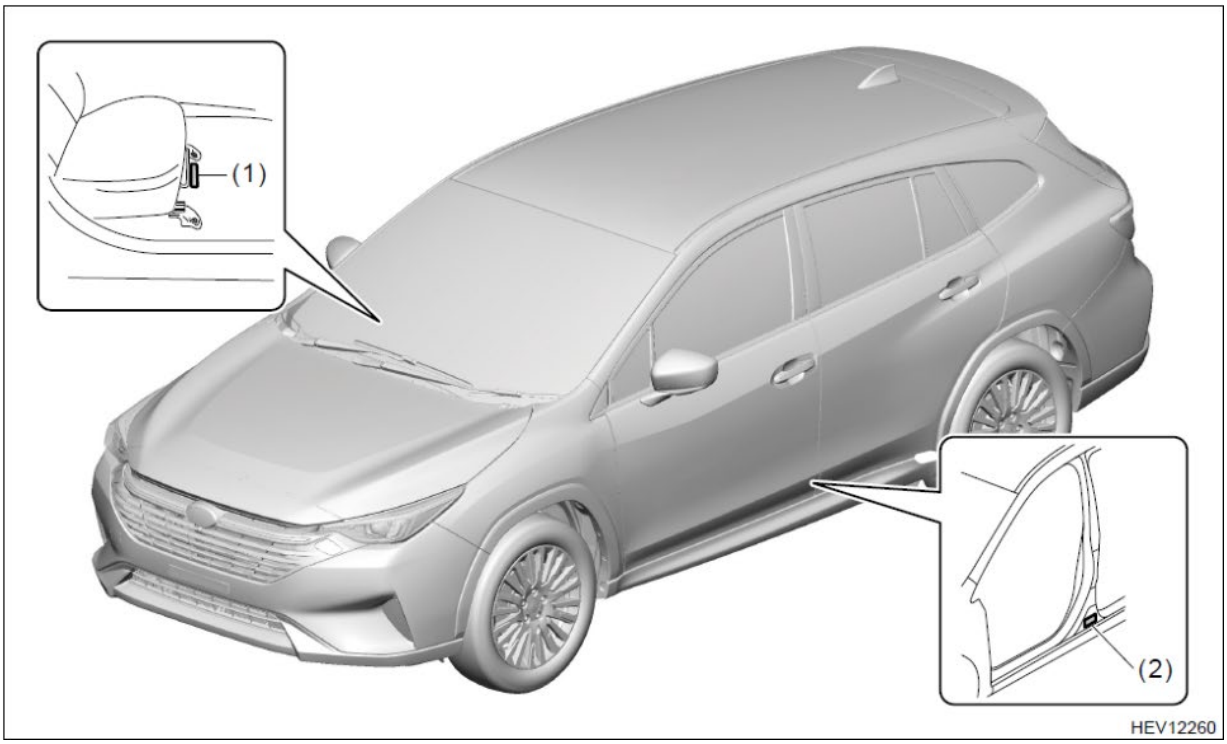
■ 車台番号による識別

運転席シート側のカバーマット下のフレーム上および助手席ドアピラーのラベルに、車台番号が記載されています。

車台番号：VNF–XXXXXX（6桁の数字）

LEVORG LAYBACK e-BOXER搭載車（ストロングハイブリッド）であることは、

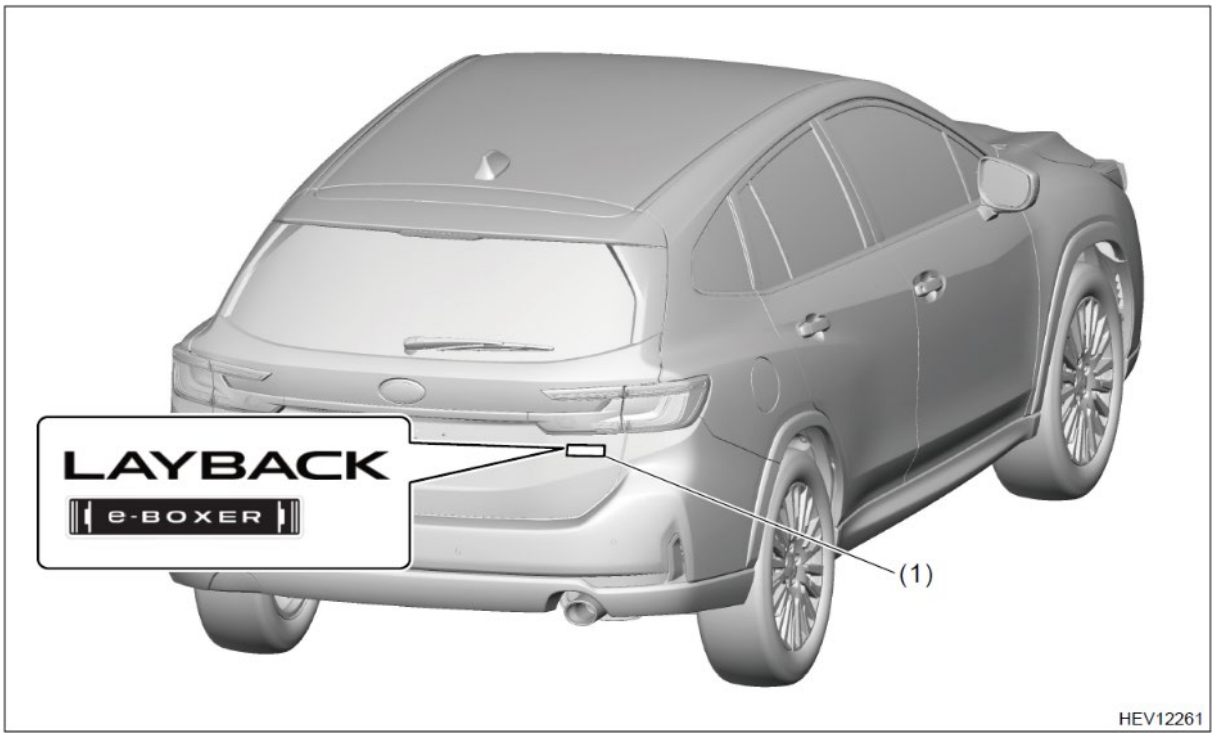
最初の3文字 VNF で識別することができます。



(1) 運転席シート側カバーマット下の車台番号

(2) 助手席ドアピラーラベル記載の車台番号

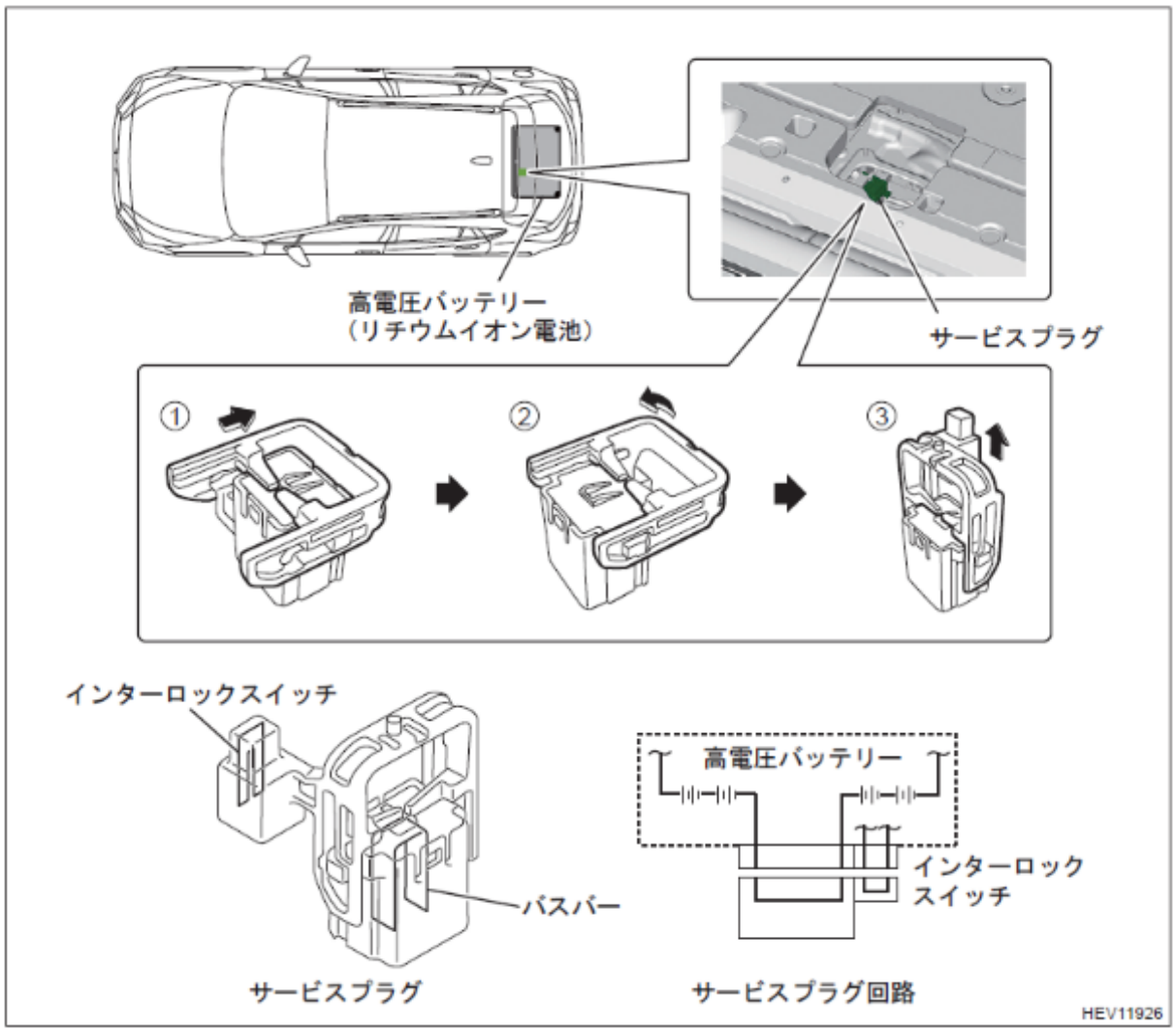
■ 外観の特徴



(1) リヤゲートの「LAYBACK e-BOXER」ロゴ

3. 高電圧バッテリー(リチウムイオン電池)の取外し方法

■ 高電圧バッテリー搭載位置、サービスプラグ



■ 作業安全上の重要事項

⚠ 警告

- 作業は必ず絶縁手袋を着用して行ってください。
- サービスプラグは、パワースイッチOFFでリレーが開いた上で、更に確実を期すため機械的に電源を遮断するものです。必ず全ての作業に先立ってサービスプラグを引抜いてください。
- 回路内にコンデンサーがあるため、サービスプラグを抜いてから高電圧ケーブルに触れるまで10分以上時間をとってください。
- 絶縁被覆のない高電圧端子に触れるときには、サーキットテスターで電圧が0 Vであることを確認してください。

⚠ 警告

- ハイブリッドシステムの誤作動を防ぐため、アクセスキーを車外へ出してください。
- メインバッテリーケーブルのハーネス・コネクターは、オレンジ色で統一しています。また、バッテリーカバーには［危険］および［警告］のコーションラベルが貼付けてあります。高電圧に関わる配線や部品には不用意に手を触れないでください。
- 高電圧系統の作業を行う場合は絶縁手袋の着用ならびにサービスプラグの取外しなど、感電防止措置を確実に実施してください。
- 高電圧回路を遮断するために必ずサービスプラグを取外してください。
- 取外したサービスプラグは、作業中に他の作業者が誤って接続することがないようにポケットに入れて携帯してください。
- 不具合が発生する可能性があるため、サービスプラグを取外した状態でイグニッションスイッチをONにしないでください。
- 作業時はシャープペンシルやスケールなど落下して短絡の恐れのある金属製品を身に付けないでください。
- ペースメーカー等、電子医療機器を装着している方は絶対に作業を行わないでください。
- 高電圧と強力な磁力を持つ部品が使われているので、短絡のおそれのある金属製品や、磁気記録破壊のおそれのある磁気記録媒体（キャッシュカード、プリペイドカード等）を身につけて作業しないでください。
- 絶縁被覆のない高電圧端子に触れるときは、事前に絶縁手袋を着用し、サーキットテスターで電圧が0 Vであることを確認してください。
- 高電圧のコネクターや端子は取外し後、ただちに絶縁テープで絶縁処置を施してください。
- 絶縁シートなどを使用して、バッテリーシステム内に異物などが入らないよう注意してください。
- メインバッテリーケーブルを外した後は、端子に絶縁テープを巻いて必ず絶縁してください。
- 絶縁工具の代用としてビニールテープを巻いた工具を使用する場合は、JIS規格C2336電気絶縁用ポリ塩化ビニール粘着テープ規定品で工具を被覆し、作業前にサーキットテスターにて絶縁を確認してください。
- 作業の際は、絶縁手袋、保護メガネ、電気用ゴム長靴・絶縁安全靴または絶縁ゴムシートを着用してください。
- 絶縁手袋の点検については、ひび、割れ、破れ、その他の損傷を確認するため、絶縁手袋を袖口から巻込んでいき、手首あたりで止め、膨らんだ部分を押して空気が漏れないことを確認してください。また、湿潤した絶縁手袋は使用しないでください。

⚠ 警告

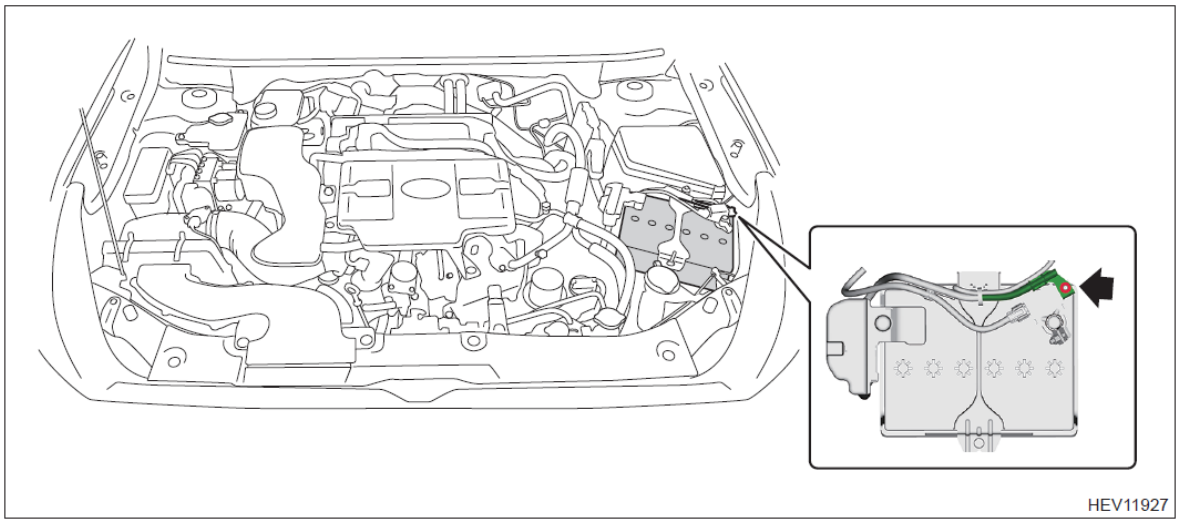
- **サービスプラグを取外した後も、バッテリーカバーを含めたカバー内全部品の作業と床下のメインバッテリーケーブルの作業には絶縁手袋を使用してください。（バッテリーカバー外となる高電圧バッテリー冷却ファン＆冷却ダクト類の作業は12 Vのみのため、絶縁手袋は不要とします。）**
- **高電圧系の作業中は車両に［高電圧作業中・触るな］の表示を行うなど、他の作業者に注意を喚起してください。**

■ 準備品

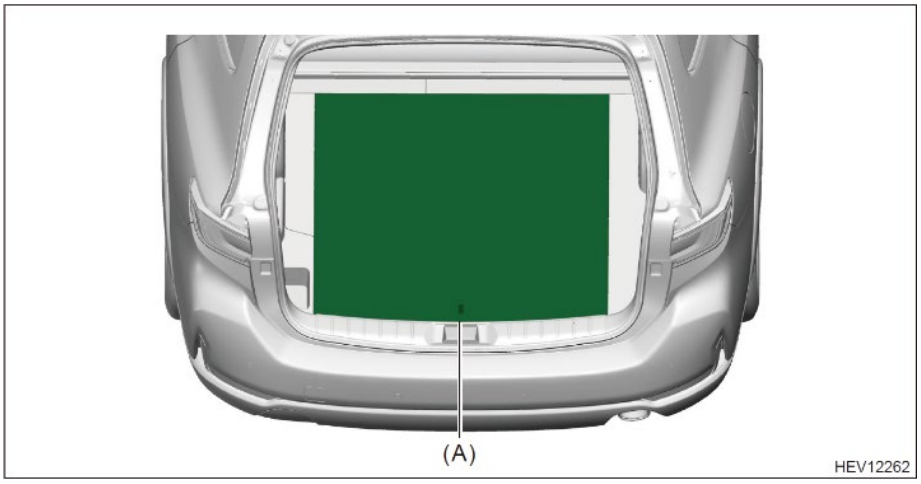
工具名	備考
絶縁工具	EN60900適合品
絶縁手袋	EN60900適合品
サーキットテスター	EN61010適合品

■ 取外し手順

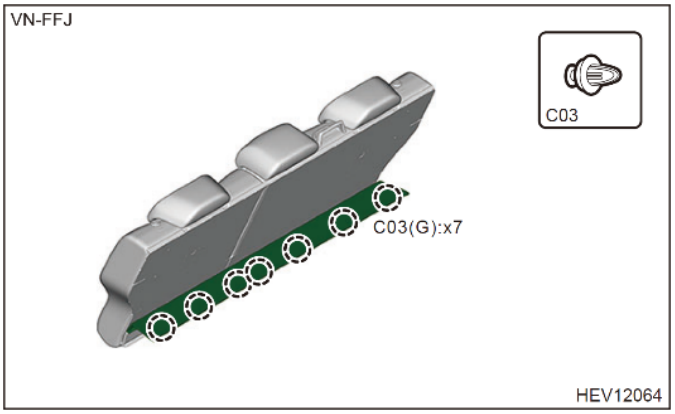
1. ボンネットとリヤゲートを開ける。
2. バッテリーセンサーからアース端子を外し、60秒以上待つ。



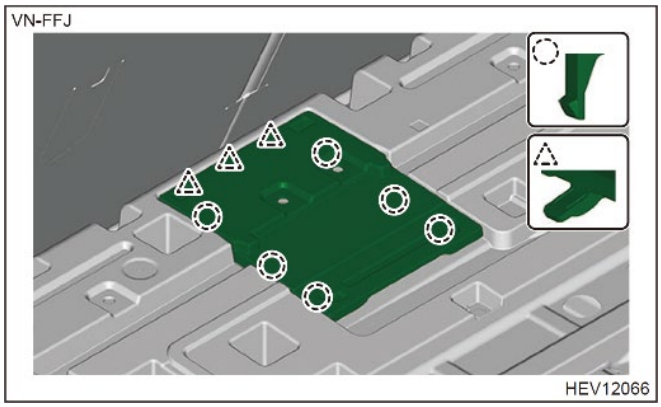
3. リヤフロアマット（A）を取外す。



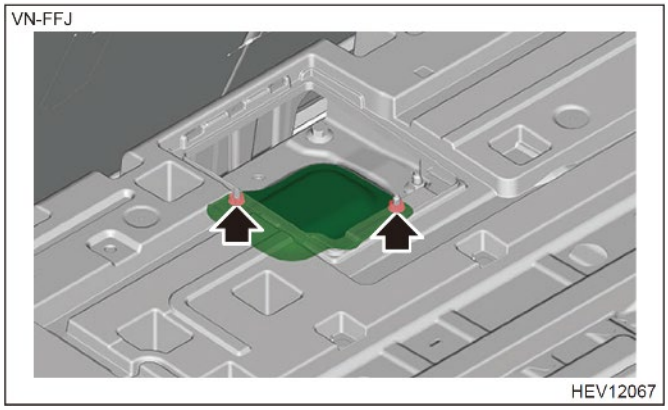
4. スペーサー フロント キャップを取外す。
(1)リヤシートの背面マットのクリップ（〇印7か所）を外す。



(2)ツメのかん合（〇印6か所）を外し、フック（△印3か所）を外す。
(3)スペーサー フロント キャップを取外す。



5. サービスプラグカバーを取外す。
ナット（黒矢印2か所）を外し、サービスプラグカバーを取外す。



6. サービスプラグを取外す。

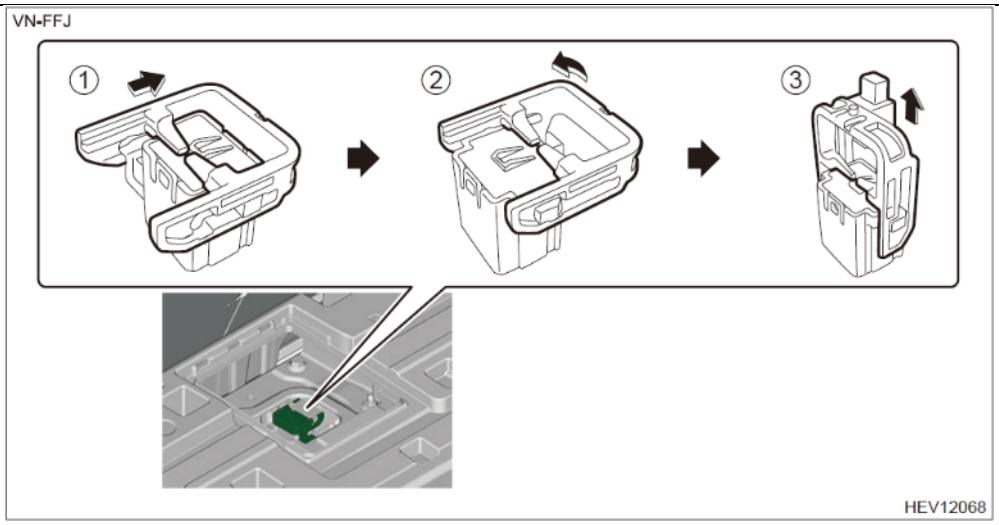
⚠ 警告

- **絶縁手袋を使用すること。**
- **取外したサービスプラグは、作業中に他の作業者が誤ってプラグを接続しないようにポケットなどに入れて携帯すること。**
- **サービスプラグ取外し後、パワーコントロールユニット内のコンデンサーに高電圧が蓄積されているため、高電圧の部品、配線、端子およびコネクターに触れる場合は、10分間の時間を確保すること。**

(1) 絶縁手袋を着用し、レバー部を引出す。
(2) レバー部を垂直になるまで起こす。
(3) レバー部を上方向へ引き、高電圧バッテリーのホルダー部からサービスプラグを引抜く。

⚠ 注意

サービスプラグを抜取り後、水およびゴミなどの異物侵入を防ぐため、ホルダー部をテープ等で保護すること。



(4) サービスプラグの取外し部（ソケット部）に、絶縁テープを貼り絶縁する。

⚠ 警告

取外したサービスプラグは、作業中に他の作業者が誤って取付けることがないよう、ポケットに入れる等、紛失しないよう携帯すること。

(5) 10分以上放置する。

7. ゼロボルト確認作業を行う。
メインバッテリーケーブルの高圧電源ラインの端子間で、電圧値を測定する。

⚠ 警告

- **絶縁手袋を使用すること。**
- **0 Vでない場合は作業を中断し、自動車再資源化協力機構に連絡して取扱いについての指示を受けること。**

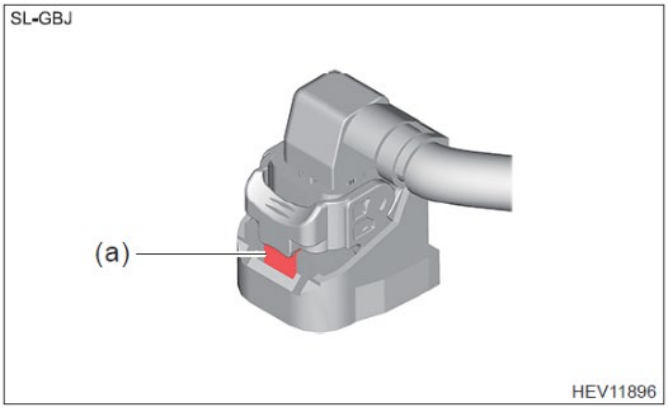
(1) エンジンワイヤリングハーネスを切離す。

⚠ 注意

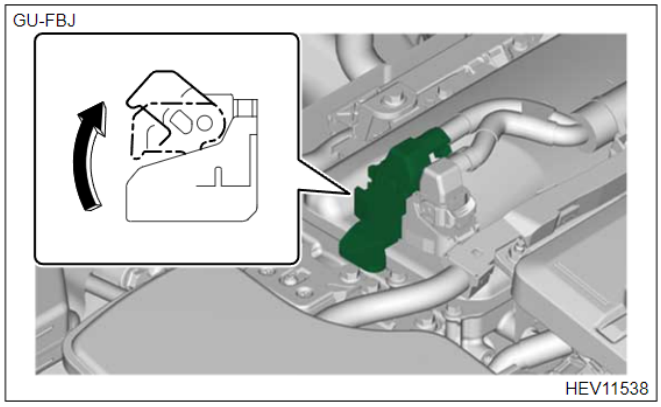
- **エンジンワイヤリングハーネスのシール部および端子部を触らないこと。**
- **エンジンワイヤリングハーネスを切り離す際は、エンジンワイヤリングハーネスの端子部、コネクターハウジングおよびパワーコントロールユニットに傷をつけないこと。**
- **切り離したコネクター端子に絶縁テープを巻いて、必ず絶縁すること。**
- **パワーコントロールユニットのコネクター開口部に、異物および水滴などが入らないように、テープなど（粘着物が残らないもの）を貼付けて塞ぐこと。**

参考

図に示す（a）部を押してロックを解除する。



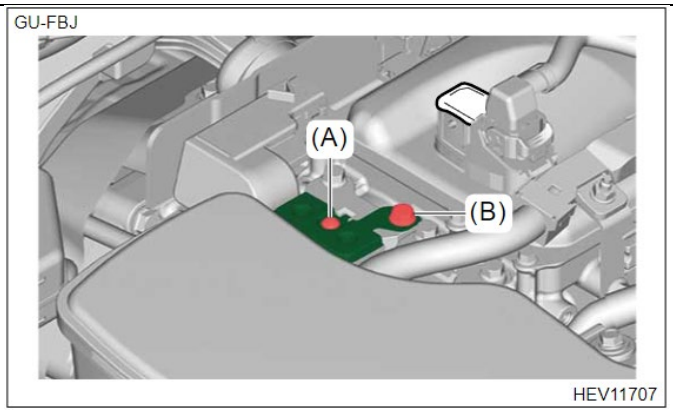
1. 下図のように、ロックレバーを起こす。
2. パワーコントロールユニットのコネクターを切離す。



(2) コネクターカバーASSYを取外す。
1. トルクス®T25を使用して、トルクス®ボルト（A）を外す。
2. ボルト（B）を外す。
3. メインバッテリーケーブルからコネクターカバーASSYを取外す。

⚠ 注意

- **コネクターカバーASSYのシール部を触らないこと。**
- **パワーコントロールユニット内に、異物および水滴が入らないようにすること。**



(3) 高圧電源ラインの端子間で、電圧値を測定する。

⚠ 注意

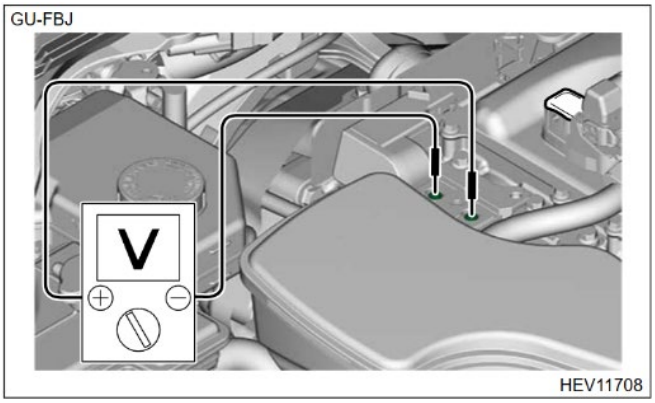
パワーコントロールユニット内に、異物および水滴などが入らないようにすること。

参考

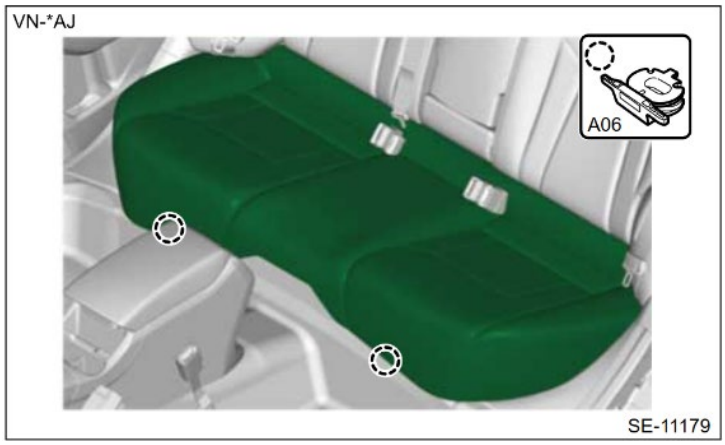
測定レンジは、DC750 V以上のレンジを使用する。

準備工具：サーキットテスター

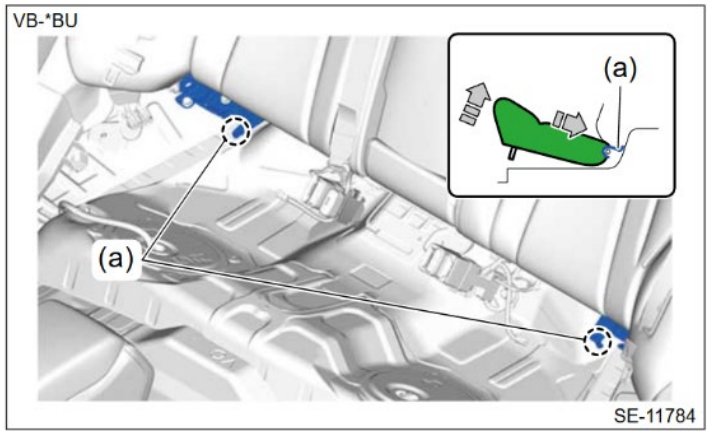
基準値：0 V



8. バックレストASSYを取外す。
   (1) リヤシートクッションASSYを取外す。
      1. リヤシートクッションの角を上から押しながら、シートクッションリヤのノブ（〇印2か所）を手前に引く。



      2. ノブを手前に引きながら、リヤシートクッション（緑）を持ち上げてフック（〇印2か所）を外す。
      3. リヤシートクッション前側を持上げ、奥に押し込むようにしてフック(a)を外す。

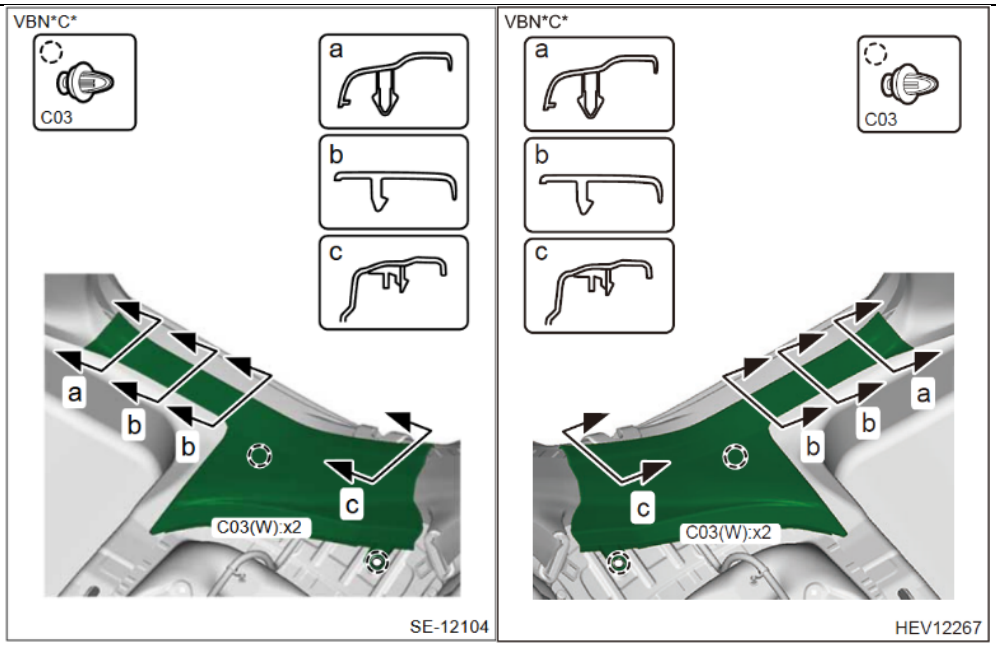


      4. コネクターを切離す。
      5. リヤシートクッションを取外す。

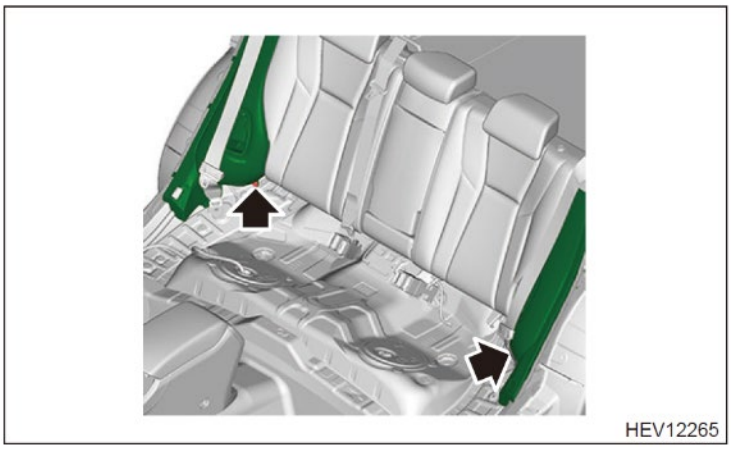
9. (2) 左右のカバー サイドシルリヤUPRを取外す。
   1. クリップ（〇印2か所）および爪（A部1か所、B部2か所、C部1か所）のかん合を外す。
   2. カバー サイドシルリヤUPRを取外す。

⚠ 注意

無理に引かないこと。カバー サイドシルリヤUPRのツメ部を破損する恐れがある。

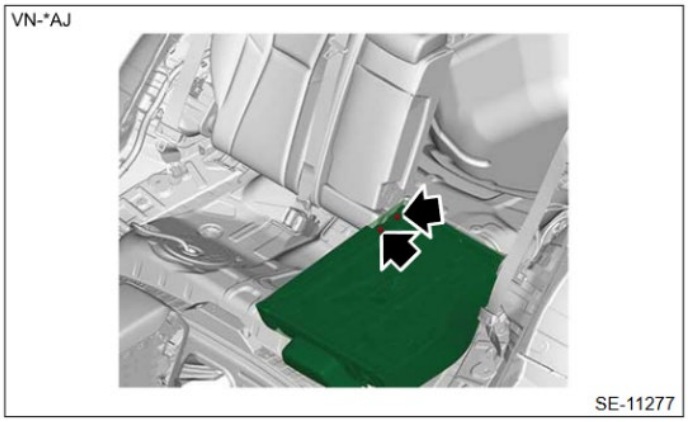


(3) ボルト（黒矢印2か所）を外し、左右のパッド リヤサイドを取外す。



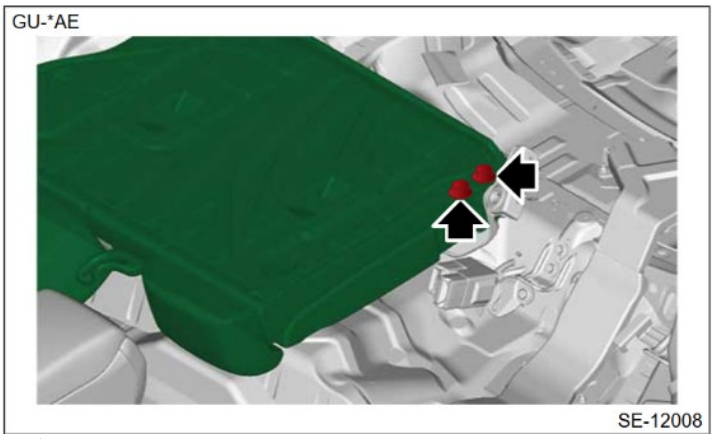
(5) バックレストASSY LHを取外す。

1. バックレストASSY LHを前側に倒す。
2. コネクターを切離し、コネクタークリップを外す。
3. カバー リヤシートバックレストLHをめくり、ボルト（黒矢印2か所）を外す。
4. バックレストASSY LHを取外す。

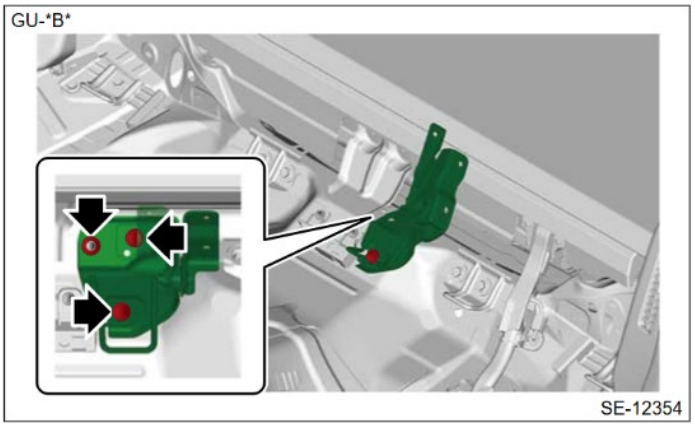


(6) バックレストASSY RHを取外す。

1. バックレストASSY RHを前側に倒す。
2. カバー リヤシートバックレストRHをめくり、ボルト（黒矢印2か所）を外す。
3. バックレストASSY RHを取外す。



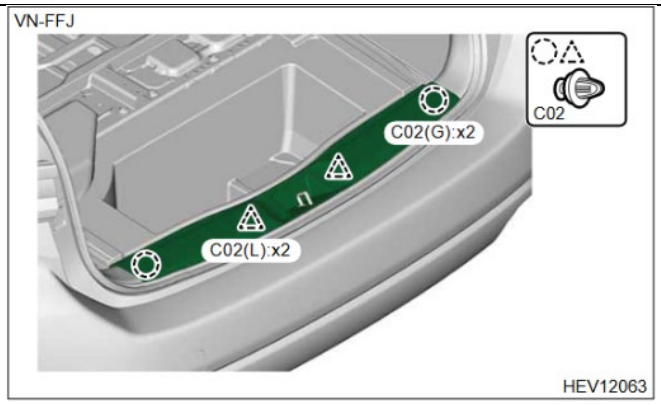
4. ボルトおよびナット（黒矢印3か所）を外し、ヒンジASSY CTRを取外す。



10. トリムパネルASSY リヤスカートを取外す。
    (1) 上方向に引上げ、クリップのかん合（〇印4か所、△印2か所）を外す。
    (2) カバー リヤフロアエッジASSYを取外す。

⚠ 注意

カバー リヤフロアエッジASSYは、端から持上げないこと。



    (3) ボックス サブトランクを取外す。
    (4) クリップのかん合（〇印2か所、△印1か所、□印1か所）を外し、スペーサー リヤフロアサイドLHを取外す。

⚠ 注意

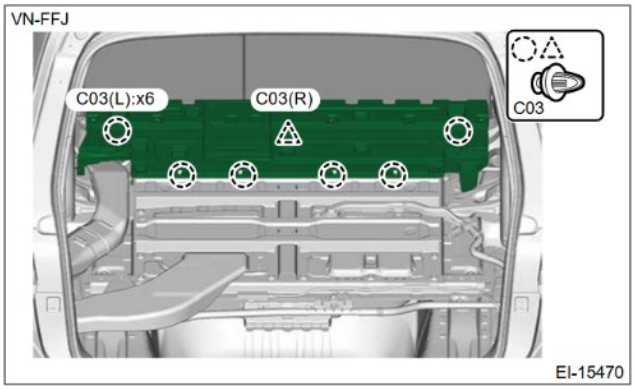
前側のクリップから外すこと。後側のクリップを外す際は、全体を垂直方向に引上げること。



    (5) クリップのかん合（〇印2か所、△印1か所）を外し、スペーサー リヤフロアサイドRHを取外す。



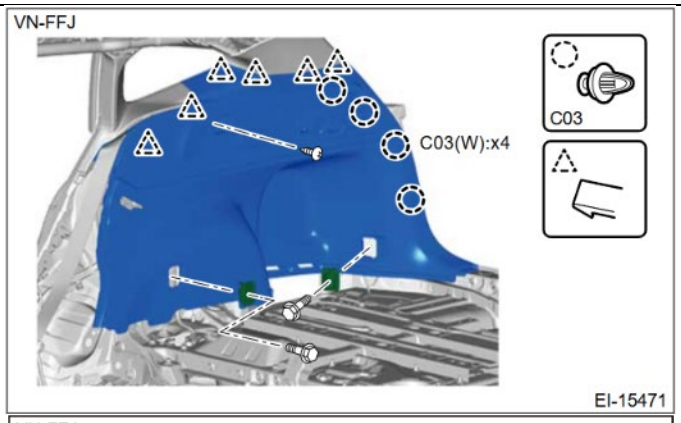
11. クリップのかん合（〇印6箇所、△印1か所）を外し、スペーサー リヤ フロア フロントを取外す。

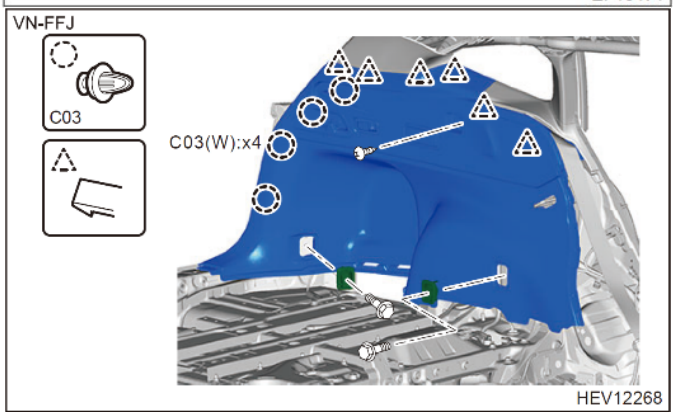


12. 左右のトリムパネルASSY エプロンを取外す。
    (1) ボルト（2か所）を外し、ラゲッジフック（緑）を取外す。
    (2) スクリュー（1か所）を外す。
    (3) クリップのかん合（〇印4か所）および爪（△印6か所）を外す。
    (4) ランプASSY ラゲッジルームのコネクター（RH側）およびリモコン可倒スイッチのコネクターを切離す。
    (5) アウトレットASSYのコネクターを切離す。（アクセサリーインバーター付モデルのRH側を取外す場合）
    (6) トリムパネルASSY エプロン（青）を取外す。

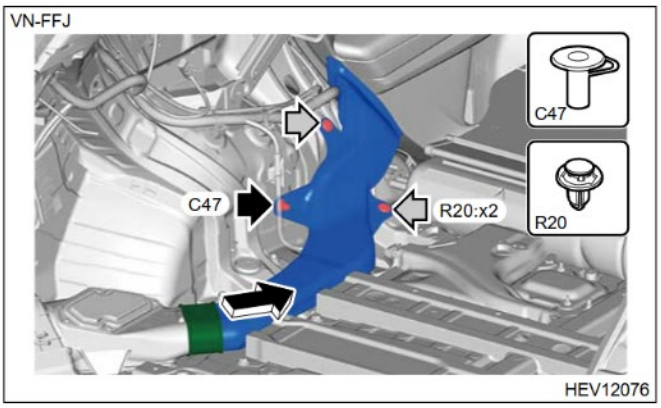
⚠ 注意

絶縁手袋を使用すること。

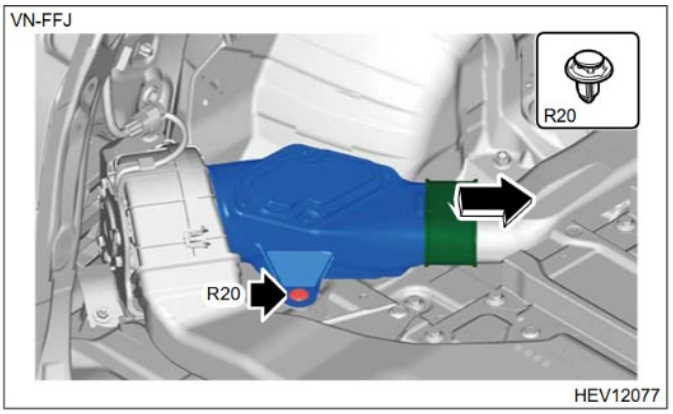




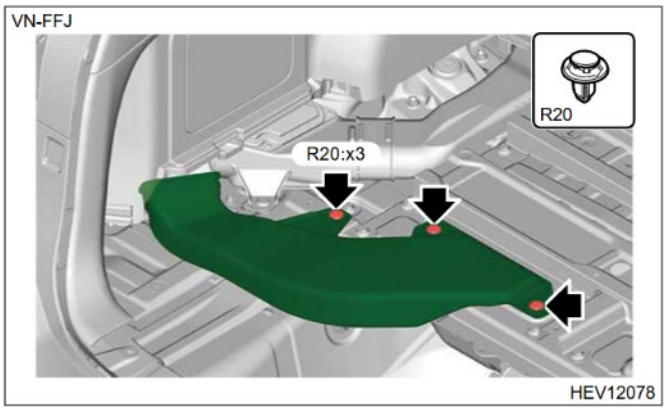
13. ダクト フロント（フロント）を取外す。
    (1) スライドロック（緑）を外す。
    (2) 樹脂ナット（黒矢印2か所）を外す。
    (3) クリップ（灰矢印1か所）を外す。
    (4) ダクト フロント（フロント）（青）を取外す。



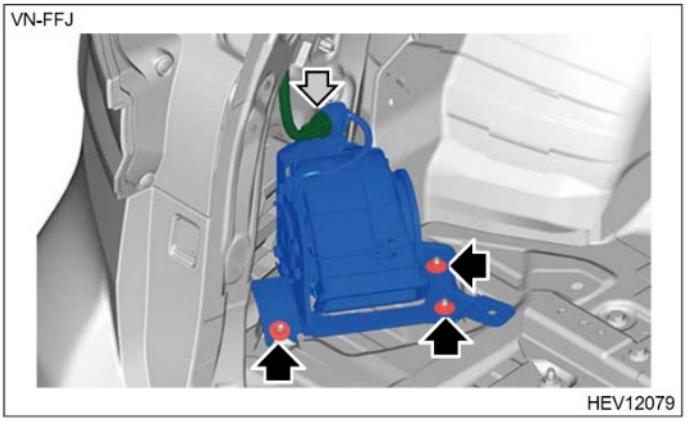
14. ダクト フロント（リヤ）を取外す。
    (1) スライドロック（緑）を外す。
    (2) クリップ（黒矢印1か所）を外す。
    (3) ダクト フロント（リヤ）（青）を取外す。



15. ダクトASSY クーリングOUTを取外す。
    (1) クリップ（黒矢印3か所）を外す。
    (2) ダクトASSY クーリングOUTを取外す。



16. 冷却ファンASSYを取外す。
    (1) コネクター（灰矢印1か所）を切離す。
    (2) ナット（黒矢印3か所）を外す。
    (3) 冷却ファンASSYを取外す。

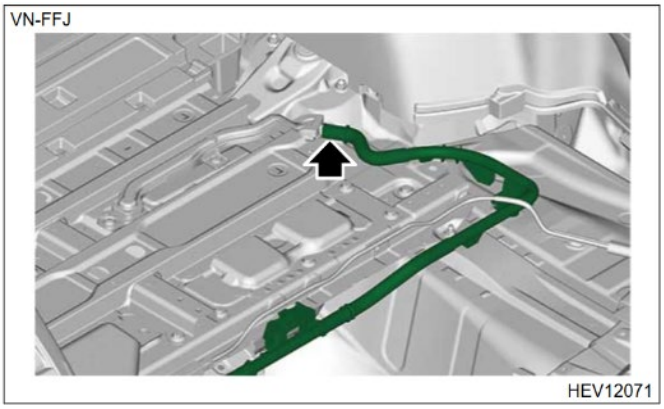


17. ダクトASSY ガスアウトを取外す。

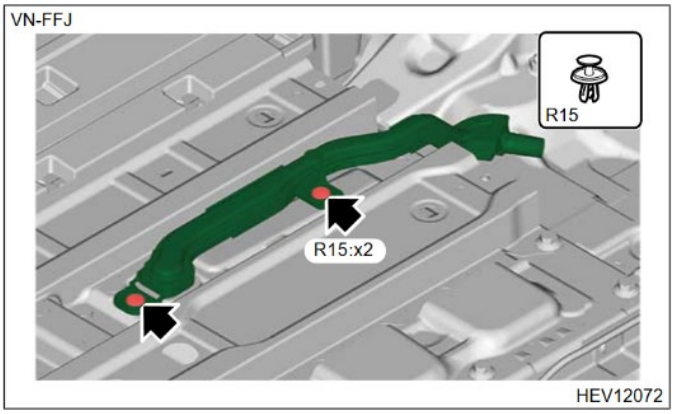
⚠ 注意

ダクトASSY ガスアウトBのホースクリップは破損する恐れがあるため、交換する場合以外は取外さないこと。

    (1) ダクトASSY ガスアウトB（黒矢印）のホースを切離す。



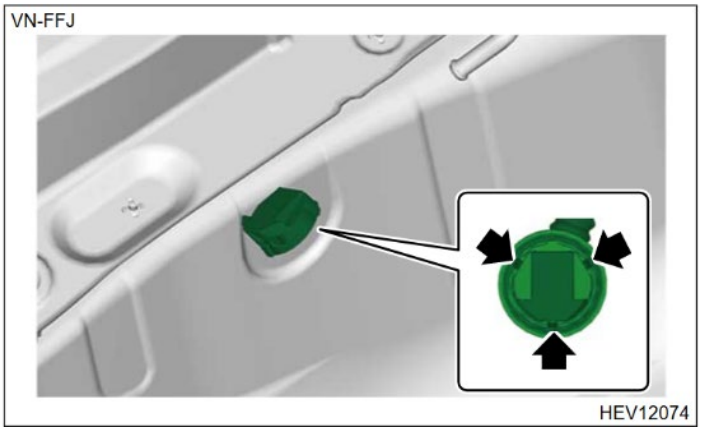
    (2) クリップ（黒矢印2か所）を外す。
    (3) ダクトASSY ガスアウトAを取外す。



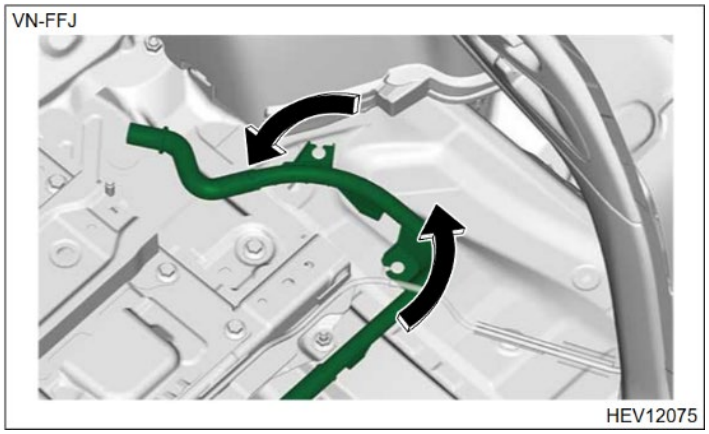
(4) ホースクリップ（〇印1か所）を外す。



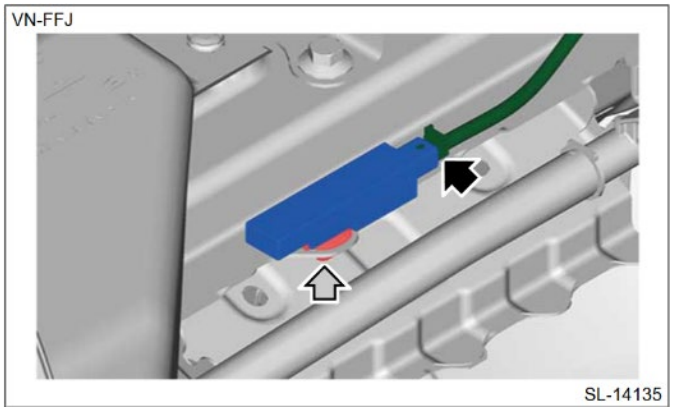
(5) 車両外側から爪（黒矢印3か所）のかん合を外す。



(6) 図に示すように、ダクトASSY ガスアウトBを取外す。



18. リヤアンテナASSY インテリアを取外す。
    (1) コネクター（黒矢印）を切離す。
    (2) クリップ（灰矢印）のかん合を外す。
    (3) リヤアンテナASSY インテリアを取外す。



    (4) リヤアンテナASSY インテリアのハーネスクリップ（〇印3か所）を外す。

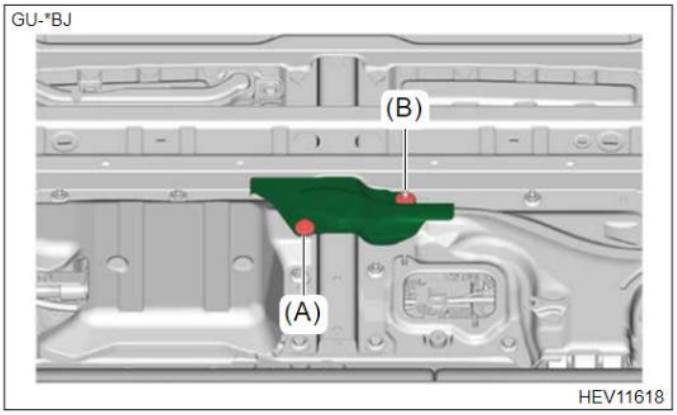


19. プロテクター ハーネスを取外す。（アクセサリーインバーター付モデル）

⚠ 警告

絶縁手袋を使用すること。

    (1) ボルト（A）を外す。
    (2) ナット（B）を外す。
    (3) プロテクター ハーネスを取外す。



20. カバー ターミナルCOMPLを取外す。

⚠ 警告

絶縁手袋を使用すること。

⚠ 注意

高電圧バッテリー内に、異物および水滴がはいらないようにすること。

(1) サービスプラグを使用して、インターロッククリップを外す。

1. サービスプラグを使用して、インターロッククリップを外す。①

⚠ 注意

突起部やクリップが破損する恐れがあるため、サービスプラグは確実にかん合させること。

2. インターロッククリップを押さえながらサービスプラグを図の矢印方向に回して外す。②

参考

外したインターロッククリップは、サービスプラグと一緒に保管する。

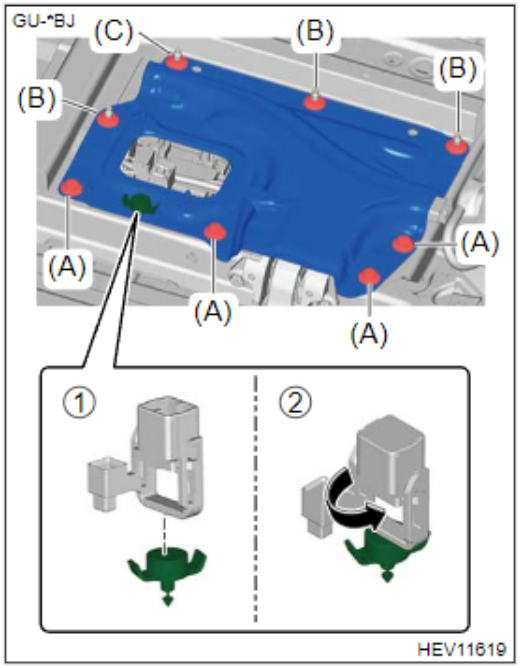
(2) ボルト（A）を外す。

(3) ナット（B）およびナット（C）を外す。

参考

ナット（C）はアクセサリーインバーター付モデルには装備されない。

(4) カバー ターミナルCOMPLを取外す。



21. メインバッテリーケーブルを切離す。

⚠ 警告

絶縁手袋を使用すること。

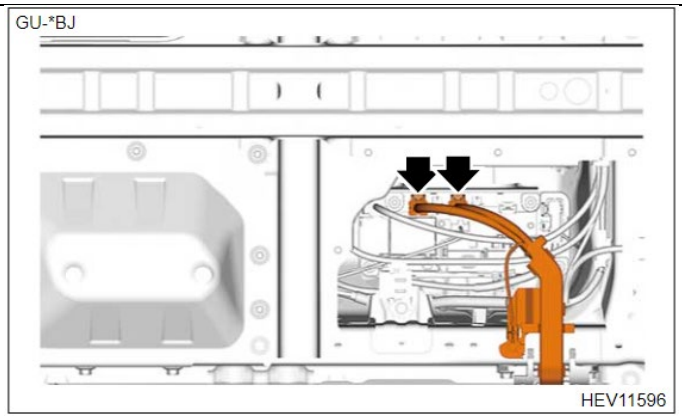
⚠ 注意

高電圧バッテリー内に、異物および水滴が入らないようにすること。

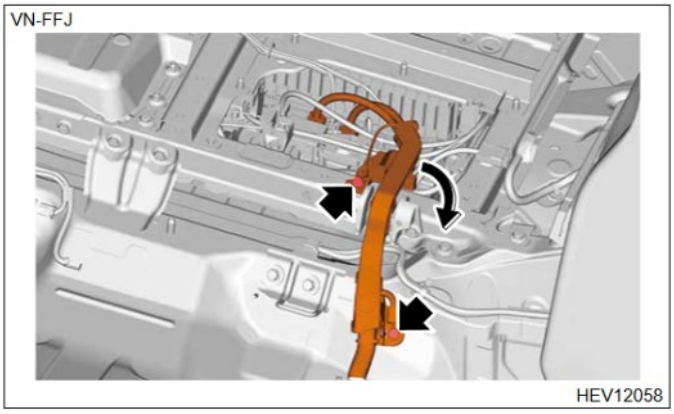
(1) ジャンクション ボックスASSYの各コネクター（黒矢印2か所）を切離す。

⚠ 注意

切離したコネクター端子に絶縁テープを巻いて、必ず絶縁すること。



(2) ボルト（黒矢印2か所）を外す。
(3) メインバッテリーケーブルを作業の邪魔にならない位置に移動させる。



22. ケーブル インバーターを切離す。（アクセサリーインバーター付モデル）

⚠ 警告

絶縁手袋を使用すること。

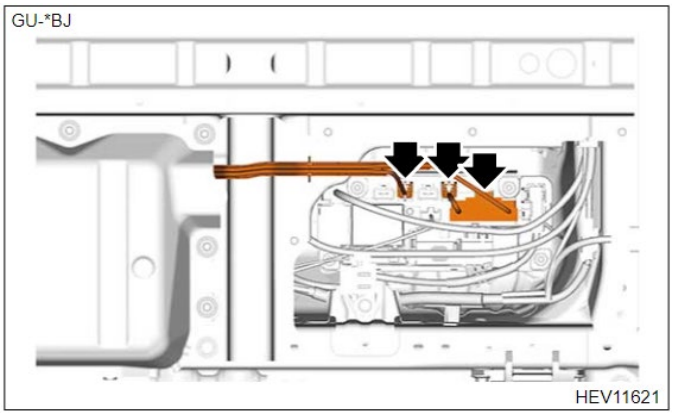
⚠ 注意

高電圧バッテリー内に、異物および水滴が入らないようにすること。

(1) ジャンクション ボックスASSYの各コネクター（黒矢印3か所）を切離す。

⚠ 注意

切離したコネクター端子に絶縁テープを巻いて、必ず絶縁すること。



23. ホルダー ハーネスを取外す。

⚠ 警告

絶縁手袋を使用すること。

⚠ 注意

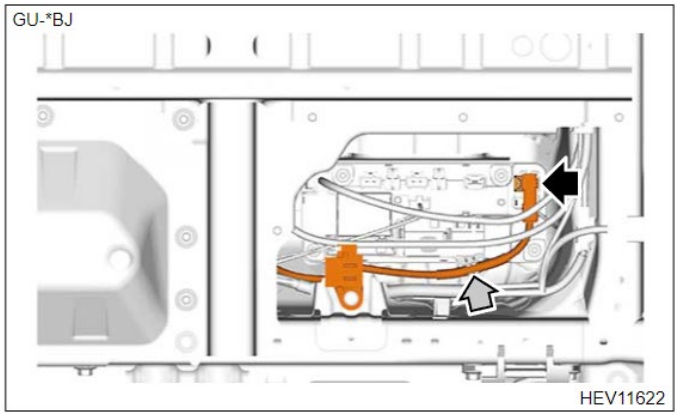
- **高電圧バッテリー内に、異物および水滴が入らないようにすること。**
- **ケーブルおよびワイヤリングハーネスを損傷させないように注意すること。**

(1) メインバッテリー コードASSYのコネクター（黒矢印）を切離す。

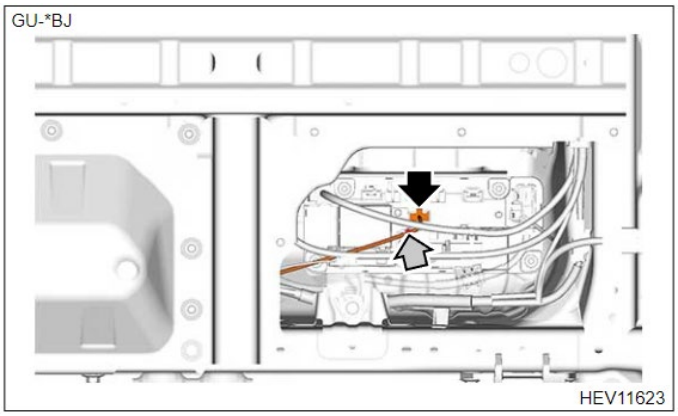
⚠ 注意

切離したコネクター端子に絶縁テープを巻いて、必ず絶縁すること。

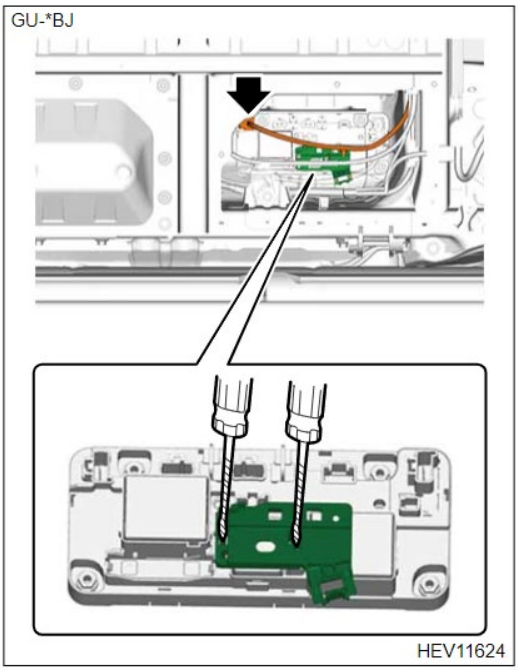
(2) ホルダー ハーネスのクランプ（灰矢印）からケーブルを切離す。



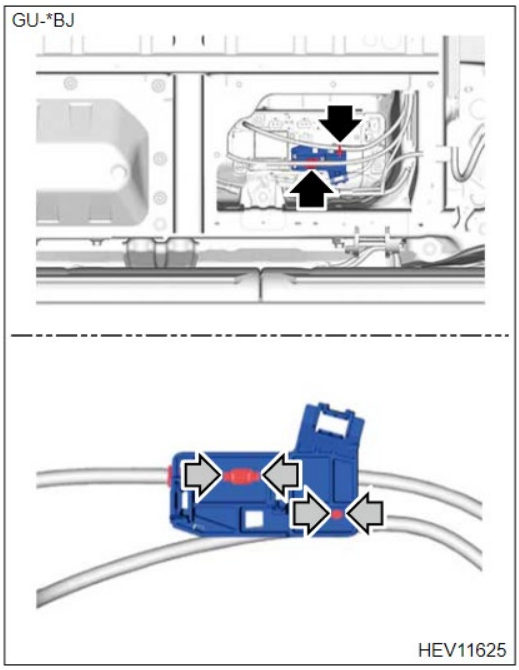
(3) コネクター（黒矢印）を切離す。
(4) ホルダー ハーネスのクランプ（灰矢印）からワイヤリングハーネスを切離す。



(5) コネクター（橙）（黒矢印）を切離す。
(6) 保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用し、爪のかん合（2か所）を外す。
(7) ジャンクション ボックスASSYからホルダー ハーネス（緑）を引抜く。



(8) ケーブルクリップ（黒矢印2か所）を外す。
(9) ホルダー ハーネスを取外す。



24. ジャンクション ボックスASSYを取外す。

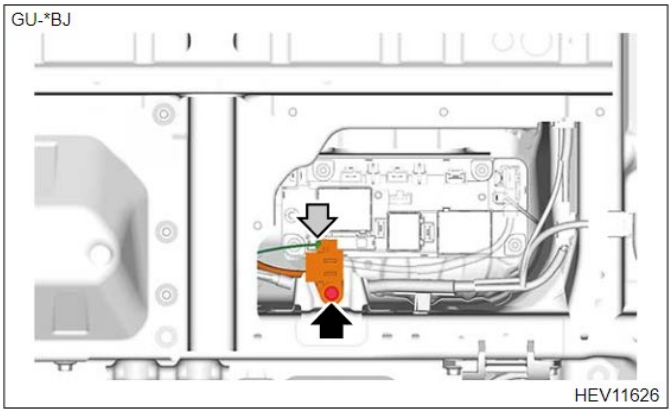
⚠ 警告

絶縁手袋を使用すること。

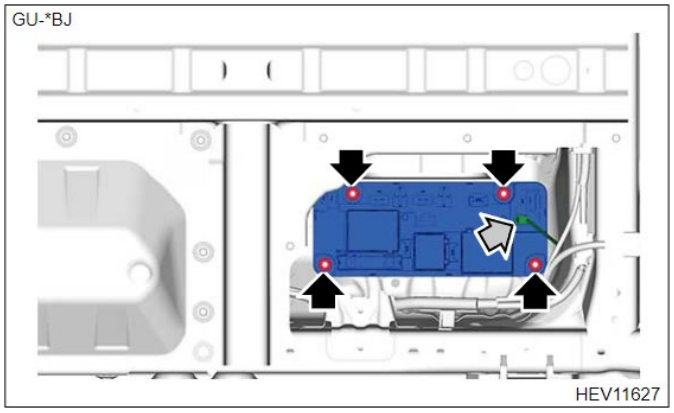
⚠ 注意

- **高電圧バッテリー内に、異物および水滴が入らないようにすること。**
- **ケーブルおよびワイヤリングハーネスを損傷させないように注意すること。**

(1) コネクター（灰矢印1か所）を切離す。
(2) メインバッテリー コードASSY（橙）を固定しているボルト（黒矢印1か所）を外す。



(3) コネクター（緑）（灰矢印1か所）を切離す。
(4) ナット（黒矢印4か所）を外す。
(5) ジャンクション ボックスASSY（青）を取外す。

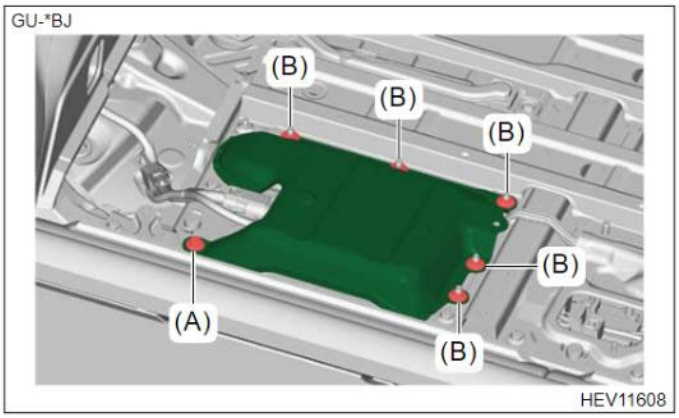


25. カバー インバーターを取外す。

警告

絶縁手袋を使用すること。

(1) ボルト (A) を外す。
(2) ナット (B) を外す。
(3) カバー インバーターを取外す。



26. アクセサリーインバーターの各コネクターを切離す。（アクセサリーインバーター付モデル）。

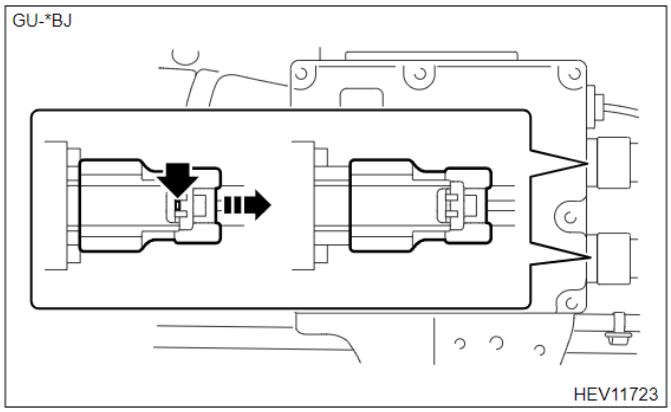
⚠ 警告

絶縁手袋を使用すること。

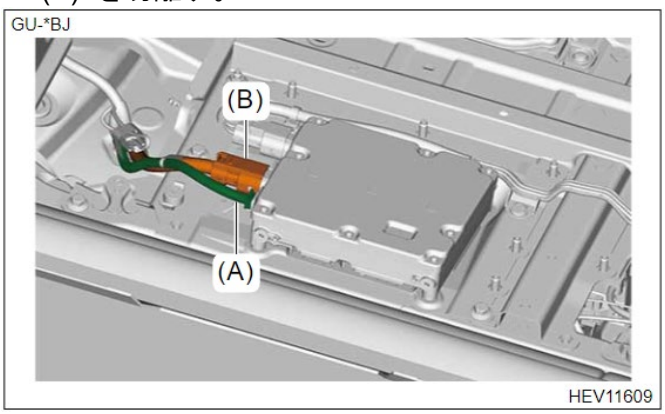
⚠ 注意

切離したコネクター端子に絶縁テープを巻いて、必ず絶縁すること。

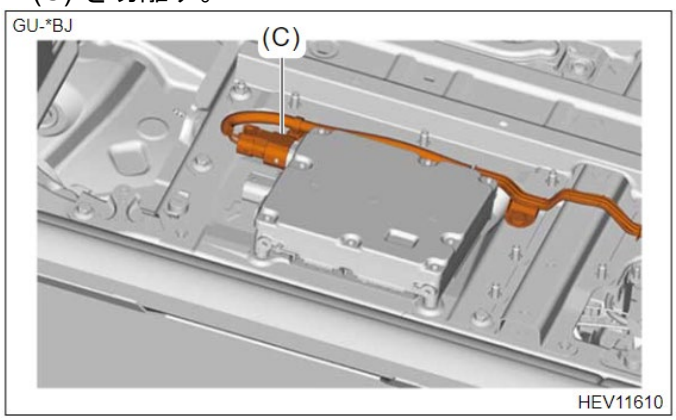
1. 挿入口に適したサイズの保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用し、ロック（黒矢印1か所）を解除する。
2. コネクターを切離す。



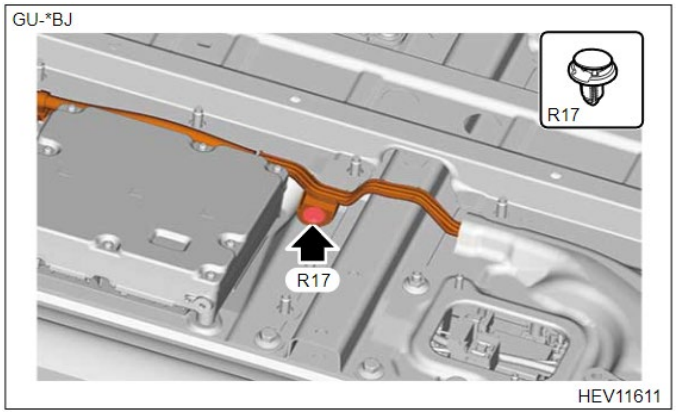
(1) コネクター (A) を切離す。
(2) コネクター (B) を切離す。



(3) コネクター(C) を切離す。



(4) ケーブル インバーターのクリップ（黒矢印1か所）を取外す。



(5) サービスプラグを使用して、インターロッククリップ（緑）を外す。
1. サービスプラグの突起部をインターロッククリップの溝に合わせる。①

⚠ 注意

突起部やクリップが破損する恐れがあるため、サービスプラグは確実にかん合させること。

2. サービスプラグの突起部をインターロッククリップの溝に合わせる。②

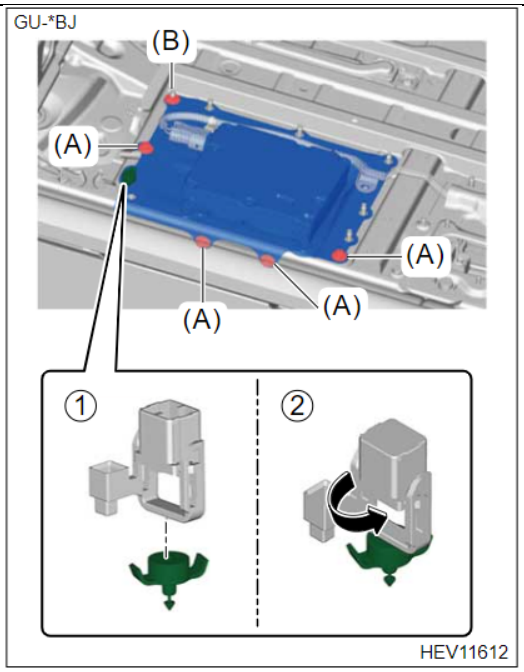
参考

外したインターロッククリップは、サービスプラグと一緒に保管する。

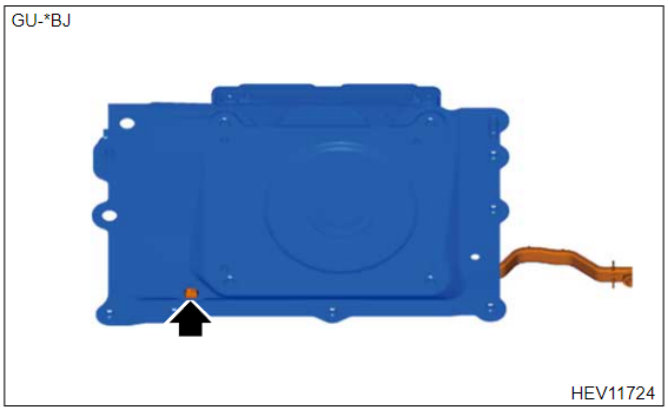
(6) ボルト (A) を外す。
(7) ナット (B) を外す。
(8) アクセサリーインバーター（青）を外す。

⚠ 注意

高電圧バッテリー内に、異物および水滴が入らないようにすること。



(9) ケーブルクリップ（黒矢印1か所）を外す。
(10) アクセサリーインバーターをケース インバーターと一体で取外す。



27. バッテリーエネルギーコントロールユニットを取外す。

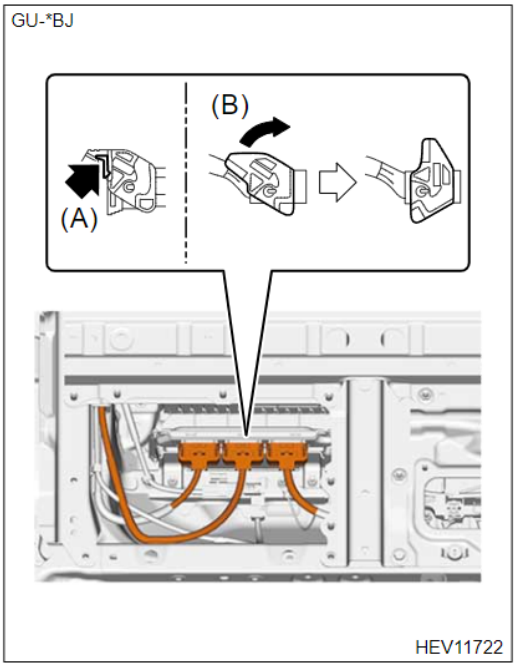
⚠ 警告

絶縁手袋を使用すること。

⚠ 注意

- **高電圧バッテリー内に、異物および水滴が入らないようにすること。**
- **レバーロックを解除しないとロックレバーが操作できないため、確実にレバーロックを解除すること。**
- **切離したコネクター端子に絶縁テープを巻いて、必ず絶縁すること。**
- **コネクターが抜けない場合、ロックレバーがロック解除位置にあることを確認すること。**
- **バッテリーエネルギーコントロールユニットのコネクター開口部に、異物および水滴などが入らないように、テープなど（粘着物が残らないもの）を貼付けておくこと。**

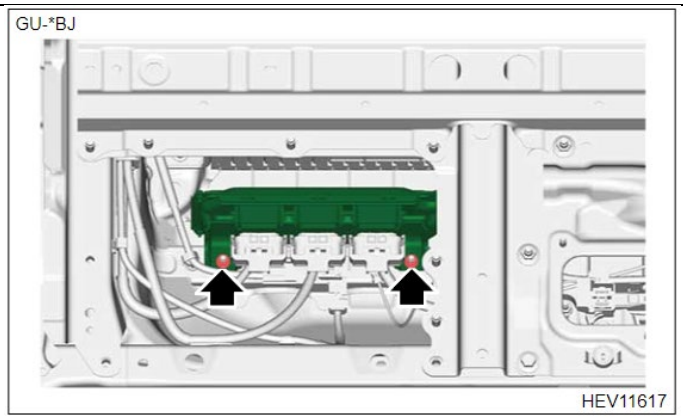
(1) 図のようにレバーロック (A) 押しながらロックレバー (B) を起こす。
(2) 各コネクターを切離す。



(3) ナット（黒矢印2か所）を外す。
(4) バッテリーエネルギーコントロールユニットを取外す。

⚠ 注意

バッテリーエネルギーコントロールユニットを落下させたり、強い衝撃を与えた場合は、新品に交換すること。



28. ヒューズ ハイボルテージシステム メインを取外す。

⚠ 警告

絶縁手袋を使用すること。

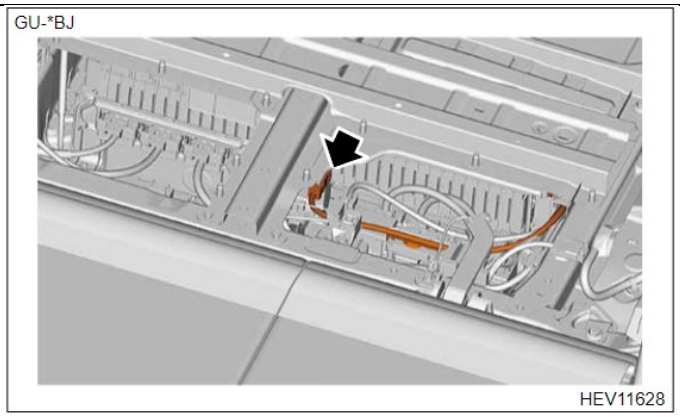
⚠ 注意

- **高電圧バッテリー内に、異物および水滴が入らないようにすること。**
- **ケーブルおよびワイヤリングハーネスを損傷させないように注意すること。**

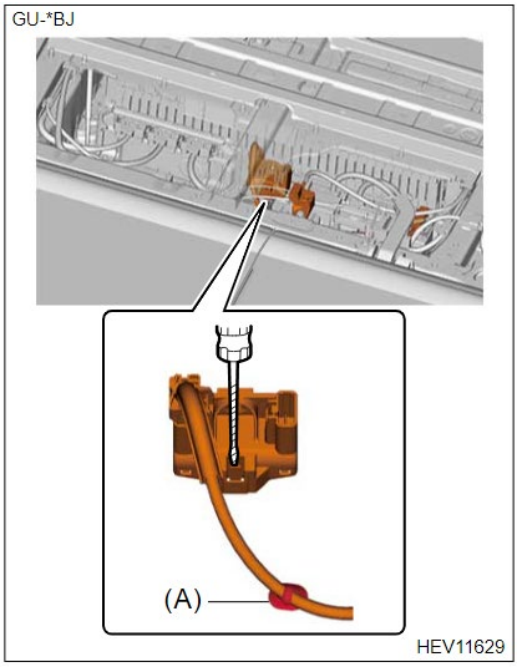
(1) コネクター（黒矢印1か所）を切離す。

⚠ 注意

切離したコネクター端子に絶縁テープを巻いて、必ず絶縁すること。



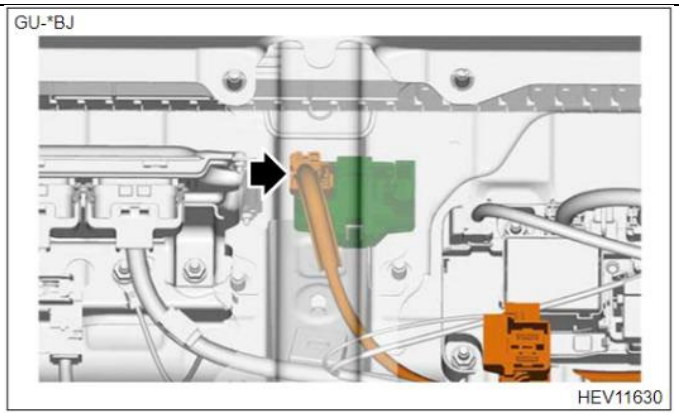
(2) ケーブルクリップ (A) を外す。
(3) 保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用し、ツメのかん合を外す。
(4) ヒューズ ハイボルテージシステム メインを引抜く。



(5) コネクター（橙）（黒矢印1か所）を切離す。
(6) ヒューズ ハイボルテージシステム メイン（緑）を取外す。

⚠ 注意

切離したコネクター端子に絶縁テープを巻いて、必ず絶縁すること。



29. メインバッテリー コードASSYを取外す。

⚠ 警告

絶縁手袋を使用すること。

⚠ 注意

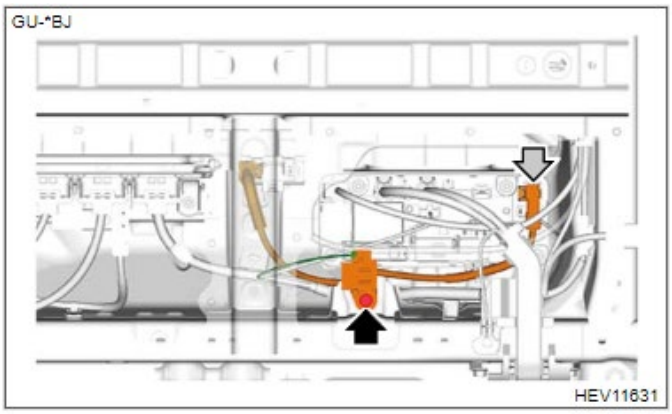
- **高電圧バッテリー内に、異物および水滴が入らないようにすること。**
- **ケーブルおよびワイヤリングハーネスを損傷させないように注意すること。**

(1) コネクター（緑）（灰矢印1か所）を切離す。

⚠ 注意

切離したコネクター端子に絶縁テープを巻いて、必ず絶縁すること。

(2) ボルト（黒矢印1か所）を外す。
(3) メインバッテリー コードASSY（橙）を取外す。



30. 高電圧バッテリーを取外す。

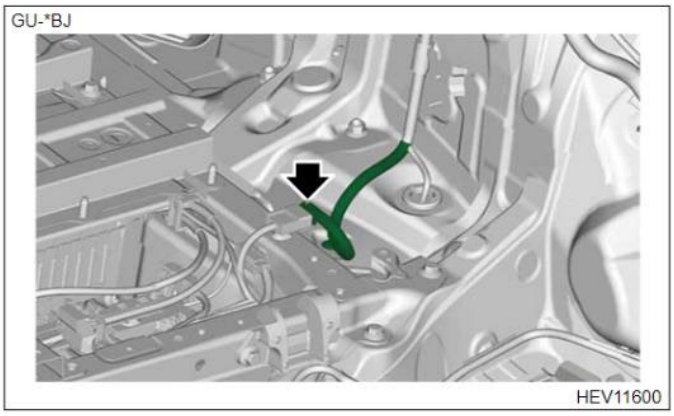
⚠ 警告

絶縁手袋を使用すること。

⚠ 注意

高電圧バッテリーは重量物のため、取出す際はミニクレーンを使用して必ず2人以上で作業を実施し、周辺部品を破損させないように注意すること。

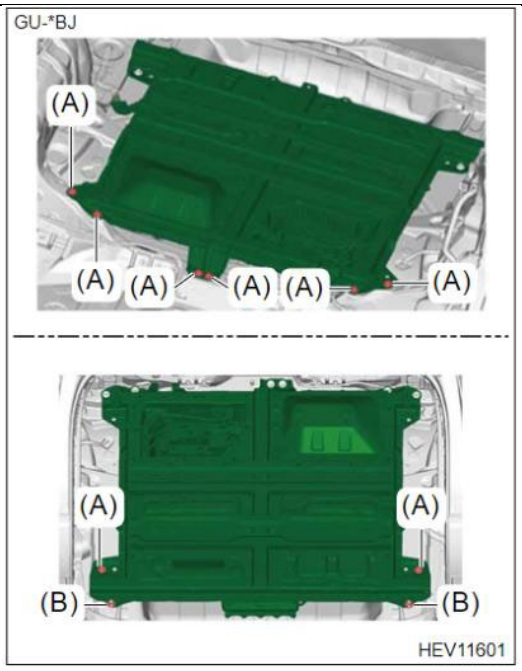
(1) コネクター（黒矢印1か所）を切離す。



(2) ボルト (A) を外す。
(3) ナット (B) を外す。

⚠ 注意

ボルトおよびナットは、グリースなど油脂分のついた状態で触れないこと。



(4) ミニクレーンを使用し、高電圧バッテリーを取外す。

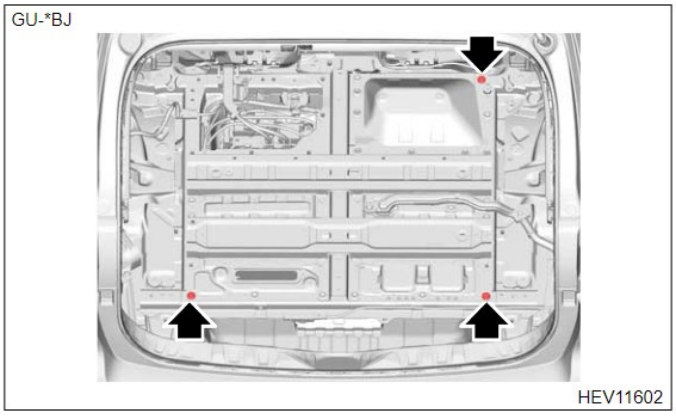
⚠ 警告

高電圧バッテリーは、重量物のため、けがや事故を起こさないよう、高電圧バッテリーをつり上げる際は作業手順およびバランスに十分注意すること。

⚠ 注意

- **ミニクレーン、ワイヤーロープおよび高電圧バッテリー本体を、ボディやガラスなどに干渉しないように注意すること。**
- **高電圧バッテリーを落下させたり、強い衝撃を与えた場合は、新品に交換すること。**

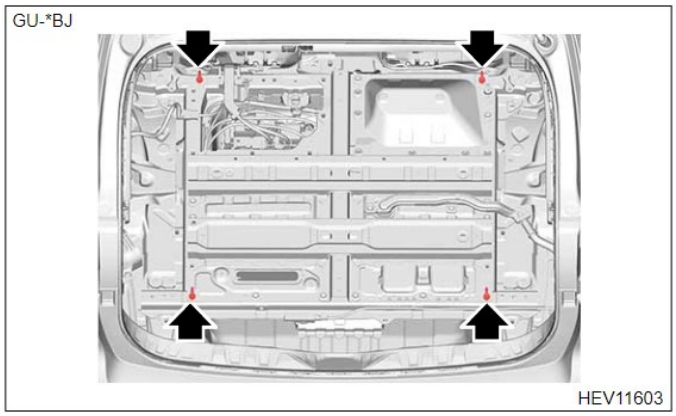
1. ボルト（黒矢印3か所）を外す。



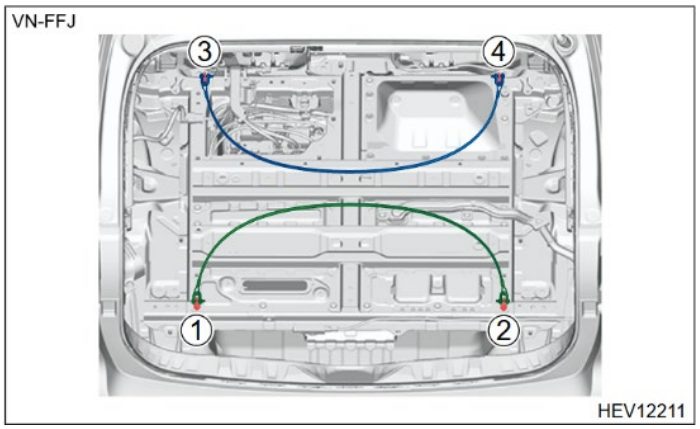
2. 高電圧バッテリーにアイボルト（黒矢印4か所）を取付ける。

参考

アイボルトは、ねじサイズ：M8 × 長さ15 mm × ピッチ1.25 mmのものを準備する。



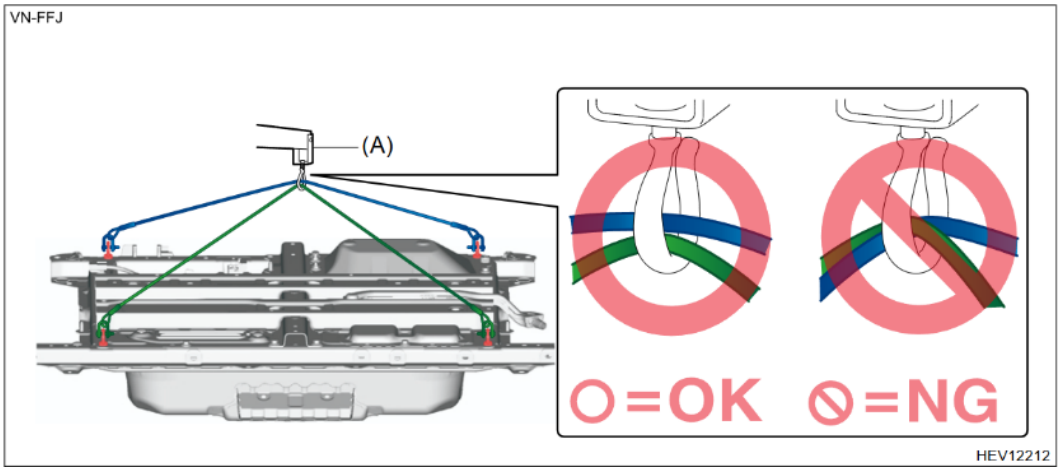
3. 図の順番にワイヤーロープ２本をアイボルトに取付ける。



4. ミニクレーン (A) を荷室後方から入れ、クレーンフックにワイヤーロープをセットする。

参考

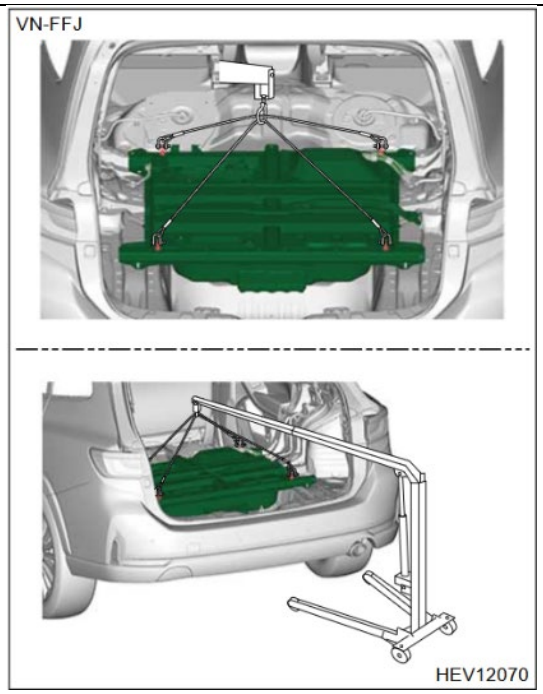
クレーンフック下端から高電圧バッテリー上面までの垂直距離が約300mmになっていることを確認する。



5. ミニクレーンの高さを調節しながら高電圧バッテリーを引抜く。

⚠ 注意

傷が付くのを防ぐため、ダンボールなどで車両を保護しながら作業すること。



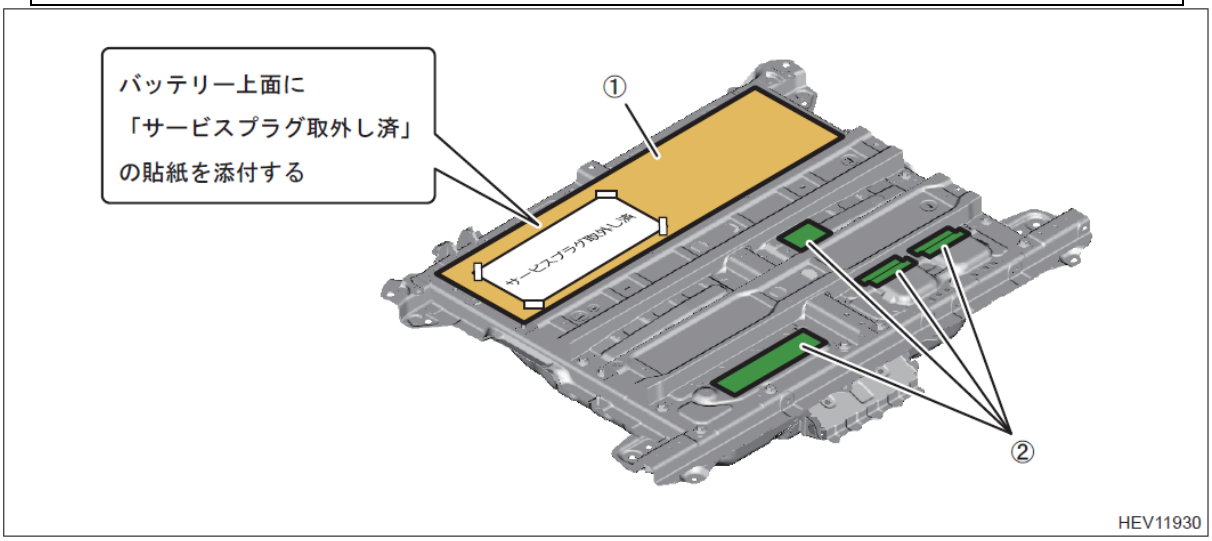
6. 高電圧バッテリーをリジットラックに乗せ、ミニクレーンおよびワイヤーロープを外す。

4. 高電圧バッテリー(リチウムイオン電池)引取りの準備・荷姿

高電圧バッテリー（リチウムイオン電池）は梱包せず、平パレットに格納してください。

⚠ 注意

- **格納前に、各端子部を絶縁テープで絶縁していることを確認し、開口部①と②を保護シートで覆うこと。**
- **格納作業は2人以上で行うこと。クレーン等を使用する場合は、ナイロンスリングを2本使用して平パレットに格納すること。（ワイヤーはバッテリーを変形、破損させる恐れがあるので使用しない。）**



高電圧バッテリーを格納した平パレットの運搬車両への積載は貴社にて作業をお願いします。

＜LiB回収受付＞

自動車再資源化協力機構（自再協）－JARP－

・取り外したリチウムイオンバッテリーは、自動車再資源化協力機構（自再協）の引取依頼システムより回収を依頼してください。

⇒リチウムイオンバッテリー(LiB)引取依頼システム

（ https://www.lib-jarp.org/ ）

電池状態確認の際、写真を提出頂く場合が、あります事 ご了承願います。

発行：株式会社SUBARU

お問合せ先：スバルお客様センター TEL 0120-05-2215

受付時間：平 日： 9：00-17：00
土日祝： 9：00-12：00、13：00-17：00

お問い合わせの際は、『駆動用 LiB 電池関連の件』である旨お話願います。

2026 年 10 月 初版 発行

高電圧バッテリー 回収・リサイクルマニュアル（リチウムイオン電池）
LEVORG LAYBACK e-BOXER 搭載車 ストロングハイブリッド

Pub No.: VNLJ261026

編集・発行 株式会社 SUBARU

本マニュアルの内容は予告なく変更する場合があります。
一般社団法人自動車再資源化協力機構のウェブサイトで最新の情報をご確認の上、ご活用ください。（https://jarp.org/productslist/lib/）

（無断転載を禁ず）